

日本の新規公開株式における長期パフォーマンスの動向について

北海道大学大学院 中村 宙正

本報告は、日本の新規公開株式の長期パフォーマンスについて実証分析を試みるものである。日本の新規株式公開市場にて、最近6年間(1997年1月～2002年12月)に公開した企業の株価を時系列的に分析し、長期的な株価の変動について一般的な傾向を考察する。また、公開後の期間を複数に区切り、それぞれの時点における株価の決定要因を計量経済学を用いて分析する。データは、会社四季報(東洋経済新報社)、新規公開会社概要(野村リサーチ&アドバイザー株式会社)、証券統計年報(東京証券取引所)から主に蒐集した。

本研究分野では、福田・芹田[1995]¹⁾、浜田康行[1998]²⁾、忽那憲治[1999]³⁾、Ritter, J.R. [1991]⁴⁾、Levis, M. [1993]⁵⁾、Lerner, J. [1994]⁶⁾をはじめとする数多くの先行研究が存在するが、本報告では特に、統計的解釈の方法論にも重点を置き、分析結果に経済学的な意義を見出していきたい。

注:

- 1) 福田充男・芹田敏夫[1995]「日本の新規株式公開市場に関する実証分析」『証券アナリストジャーナル 第33巻第3号』日本証券アナリスト協会。
- 2) 浜田康行[1998]『日本のベンチャーキャピタル 新版』日本経済新聞社。
- 3) 忽那憲治[1999]「ベンチャー・ファイナンスと直接金融システム」『国民金融公庫 調査季報 第49号』。
- 4) Ritter, J.R. [1991] 'The Long-Run Performance of Initial Public Offerings,' *The Journal of Finance* 46,3-27.
- 5) Levis Mario [1993] 'The Long-Run Performance of Initial Public Offerings: The UK Experience 1980-1988,' *Financial Management* 22, 28-41.
- 6) Josh Lerner [1994] 'Venture Capitalists and the Decision to Go Public,' *Journal of Financial Economics* 35,239-316.